

金物工法マスターを無償提供

ウォールスタットの直結連動も

ネットイーグル

ネットイーグル（福

岡市、祖父江久好社長）は昨年、非住宅対応のプレカットCAD「XF15」向けに金物工法のマスターデータや使い方のサンプルと「金物工法マスター」の無償提供を開始したほか、XF15のウォールスタット直結インターフェイスを開発し、金物工法を使った非住宅の耐震シミュレーションをCADデータを設計し、CAD/CA

XF15は、住宅の座標軸に捕らわれない自由な設計に対応できるのが最大の特徴で、製作金物も自由な形状で設計し、CAD/CA

Mで加工できる。だが、自由度が高い分、入力自動化が難しく、住

宅向けのXstarであれば金物メーカーの仕様規定で自動生成できる金物工法も一から入力する必要があった。

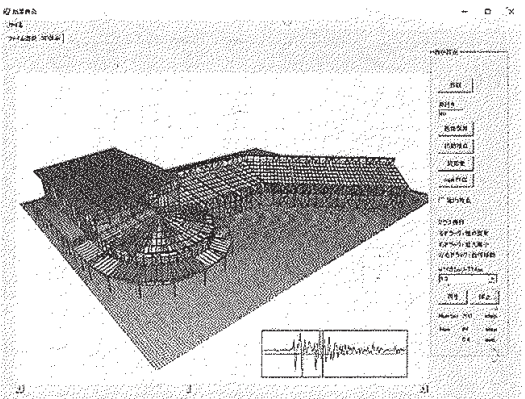
非住宅木造建築では、製作金物を多用する物件のほか、既製品の金物工法で大部分を設計し、一部に製作金物を使用するというケースも少なくない。この場合、従来はXstarで既製品の金物を設計して製作金物だけのCADで部材加工するか、XF15で既製品の金物も含めて一からデータを作るかのどちらかしかなかった。

XF15で金物工法マスターを利用できれば、ユーザーが個別にデータを作る手間が省けるだけでなく、オプションソフト「Xstar読込」を使ってXstarで入力した金物工法データをXF15に取り込むことで、こ

らデータを作るかのどちらかしかなかった。XF15で金物工法マスターを利用できれば、ユーザーが個別にデータを作る手間が省けるだけでなく、オプションソフト「Xstar読込」を使ってXstarで入力した金物工法データをXF15に取り込むことで、こ

らデータを作るかのどちらかしかなかった。XF15で金物工法マスターを利用できれば、ユーザーが個別にデータを作る手間が省けるだけでなく、オプションソフト「Xstar読込」を使ってXstarで入力した金物工法データをXF15に取り込むことで、こ

らデータを作るかのどちらかしかなかった。XF15で金物工法マスターを利用できれば、ユーザーが個別にデータを作る手間が省けるだけでなく、オプションソフト「Xstar読込」を使ってXstarで入力した金物工法データをXF15に取り込むことで、こ



組画面
（軸組）建築物（大規模）木造非住宅（工法）の耐震シミュレーション

大断面用のテックワンNEXT（タツミ）を使えば、大断面集成材を使った建物でもシミュレーションできる。